

NPO・行政協働事業助成事業 実績報告

団体名	フードバンク関西	代表者名	浅葉 めぐみ
事業名	フードバンクで取り扱う食品を活用する「食のセーフティネット」事業の仕組みの構築と実施		
協働の相手方	尼崎市 尼崎市民福祉振興協会、芦屋市 芦屋市社会福祉協議会 伊丹市 伊丹市社会福祉協議会		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	フードバンク事業 全期間中、食品関連企業その他から余剰食品の寄贈を受け、それらをボランティアの手で、支援を必要とする人達を支える団体や施設 90 数か所に運び、無償で分配した。2013 年 1 年間の取扱食品量は 175 トン。 各受け取り団体には原則として月 3 回のデリバリーを行い、取扱食品はパン野菜果物、鶏肉加工品、チーズ、菓子類、調味料、飲料類等。
平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	食のセーフティネット事業 全期間中、尼崎市には月 1～2 回、市役所福祉課内に設置されている食品保管庫への緊急支援食糧の補充を行い、市担当者は緊急支援が必要と判断した市民に対しそれらを渡し、当法人は活用についての報告を受けた。 芦屋市、伊丹市、西宮市、川西市では、各市の窓口団体を通じて、緊急食支援要請があった都度、当法人が利用者の状況に合わせて食糧を準備し、市あるいは窓口団体の担当者が食品を事務所に引き取りに来る形で食糧提供を行った。利用者には、市の担当者を通じて、即日に食糧が届けられた。

効果と成果

フードバンク関西は「食べ物は命の糧、大切にしたい」を活動趣旨にして 2003 年から「フードバンク」事業を行い、2 年前からフードバンクで取り扱う食糧を活用して、一時的に困窮し緊急食支援が必要となった市民を対象にした「食のセーフティネット」事業を行政との協働する形で開始した。これはフードバンク関西が支援食糧を準備し、各市の担当者を介して生活困窮者に無償で届ける仕組みで、すでに芦屋市、尼崎市、伊丹市、西宮市で実施され、川西市、宝塚市でも仕組み作りの協議に入っている。今後、県内の食品関連企業や個人から提供される余剰食品を活用し、市民がその仕組みを支えて「食べ物がなくて命の危機に陥る人がいない」安心して暮らせる地域を少しずつ拡大し、将来はこの「食のセーフティネット」で兵庫県を覆いたい。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
N P O ・ 行政協働事業助成金	1, 000, 000
自己資金	3, 169, 299
合 計	4, 169, 299

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	運送費	898, 637	637, 984
	保管費	321, 795	321, 795
	車輛関係費	297, 660	40, 221
	謝金	900, 000	0
	交通費他	1, 093, 028	0
	小 計	3, 511, 120	1, 000, 000
	間接経費 (一般管理費)	658, 179	0
	合 計	4, 169, 299	1, 000, 000